

事業計画書

事業名	郷土芸能普及事業
実施箇所	望月駒の里ふれあいセンター 望月人権センター
実施期間	事業開始予定年月日 平成30年6月1日
	事業終了予定年月日 平成30年年12月20日
事業概要	<p><事業の目的及び達成目標> 佐久市望月地区は過疎地域と言われ、人口も減少しているが、市での空家バンクの取組みなどもあり、近年新しくこの地に住む人も増えてきた。住民の支え合いという観点から、地域の一体感は重要で、それには地域の伝統的文化を通じた交流が大きな意味を持つと考えた。望月小唄は中山晋平の作曲で、90年の歴史を持ち、望月の特色ある自然や歴史が唄い込まれており、多くの人に親しまれてきたが、それを新住民や子どもたちにも広め、さらに全国に発信することを通して、地域の活性化に寄与するべく、この事業を企画した。 望月小唄まつりはマルシェや記念公演を実施し、300人以上の参加を見込む。この祭りが来年度以降も続くよう、実行委員会を存続する。冊子発行は、多くの場で普及に努める。</p>
	<p><事業の内容> 1、望月小唄誕生90周年記念「第1回望月小唄祭り」の開催 望月地区内外の文化団体（約20団体）に呼びかけ、実行委員会をつくって準備をすすめる。平成30年7月8日（日）望月駒の里ふれあいセンター、参加者300人を予定している。この事業は3・1年度以降にも第2回3回・・・と継続する計画である。内容は（1）ポスター・チラシの図案を望月小学校・望月中学校の全児童生徒から募集する。（2）区長会・商工会・新住民の連絡会などの協力を得て、特に近年新しく望月に住むようになった新住民に参加を呼び掛ける。（3）プロの演奏家の指導を得て、改めて望月小唄の歌い方などの水準を高める。この企画を通して地域の文化団体の新たな絆が生まれる。（4）望月90年の歴史や望月小唄保存会の活動を紹介するスライド（パワーポイント）をつくり、上映する（5）専門家と望月小唄保存会の指導で、正調の望月小唄の歌と踊りを来場者全員（子供からお年寄りまで）でレッスンする。そのための事前練習も行う。（8）中山晋平の曲で手話ダンスを指導する。 2、望月小唄の歴史を綴った写真集と歌詞の解説を載せた冊子発行 望月小唄祭り、小中学校や福祉施設での演奏、文化行事の時などに配布する。また観光施設でも活用していただく。発行部数1000部、7月上旬発刊予定。</p>
	<p><アピールポイント>小学生から大人まで、そして新住民も含めて地域の伝統的文化を共有することを通して、さまざまな場で一緒に歌ったり踊ったりすることができ、また望月の歴史や望月小唄の内容を理解することを通して、地域への愛着が深まり、活性化に役立つ。望月小唄の普及は観光事業にも役立つ。</p>

年間計画	4月	実行委員会開催 望月小唄保存会員及び希望者練習
	5月	実行委員会開催 チラシ作成 冊子編集 望月小唄保存会員及び希望者練習
	6月	実行委員会開催 チラシ配布 冊子編集 望月小唄保存会員及び希望者練習
	7月	第1回「望月小唄まつり」開催 冊子配布
	8月	実行委員会（来年度に向けた準備相談など） 望月小唄保存会員及び希望者練習
	9月	冊子とスライドを活用し、勉強会開催 望月小唄保存会員及び希望者練習
	10月	冊子活用 実行委員会 望月小唄保存会員及び希望者練習
	11月	実行委員会 望月小唄保存会員及び希望者練習
	12月	実行委員会 望月小唄保存会員及び希望者練習
	1月	実行委員会 望月小唄保存会員及び希望者練習
	2月	実行委員会 望月小唄保存会員及び希望者練習
	3月	実行委員会 望月小唄保存会員及び希望者練習
	活動することで期待される地域や社会への具体的な効果・成果 (事業の対象者・参加予定人数も記載)	<p><「公益性」の視点> 第1回望月小唄まつりでは、参加者300人を予定している。子どもたちや新住民にも呼びかけ、伝統ある地域の宝として「望月小唄」がさらに広まる。この取り組みを通して、実行委員会に参加する地域の文化団体（20団体）の絆が深まり、地域の文化向上に大きな役割を果たせるようになる。また、望月小唄の歴史と現在を綴った冊子を1000部発行し、望月を訪れた観光客にもこの地をより親しい存在にさせていただける。</p>

<p>活動を継続するための取組や考え方 (資金面、人材等)</p>	<p><「自立性」の視点> 望月小唄保存会の会員を増やし、望月小唄まつり実行委員会を継続する。毎月の練習日には、多くの人に参加を呼びかける。保存会の会員は現在も会費を納入しているが、これを継続する。賛同する法人や個人の寄付金を募る。</p>
<p>翌年度以降の活動内容概要</p>	<p>望月小唄まつりを継続する。さまざまな集会やお祭り等で、望月小唄の歌と踊りを披露する。踊りに参加もしていただく。望月小学校の運動会では、全校児童に望月小唄を踊っていただく。その時、保存会は踊りの指導をし、演奏は生演奏で参加する。望月小唄の歴史と現在を編集した冊子は、来年度も増刷りし、さまざまなイベントで配布する。</p>
<p>事業の最終目標</p>	<p>地域固有の芸能として、望月小唄を地域に広め、佐久市全体で「望月小唄まつり」が開催できるようにする。佐久地方のさまざまなお祭りなどで望月小唄が唄い踊り継がれていくことを目指す。</p>